



## 講座のアピールポイント

片頭痛，てんかんや脳血管障害などの common diseases から，アルツハイマー病やパーキンソン病で代表される神経変性疾患，神経筋疾患，神経免疫疾患や中枢神経感染症など幅広い疾患を扱っております。アルツハイマー病を含む認知症に関しては認知症疾患医療センターで精神神経科と連携し，頭部 MRI や核医学検査を用いた診療・研究を行っています。パーキンソン病に関してはドパミントランスポータースキャンや MIBG 心筋シンチグラフィなどの核医学や MRI 検査や臨床研究のほか，レボドパ持続経腸療法を含むデバイス治療も行っています。脳卒中に関しては脳卒中センター，脳神経外科と連携し，超急性期脳梗塞に対して血栓溶解療法や血管内治療を施行しております。さらに，睡眠医療センターと連携し，睡眠ポリグラフ検査や睡眠潜時反復検査を用いてナルコレプシー，睡眠時無呼吸症候群，レストレスレッグス症候群，レム睡眠行動異常症(RBD)などの睡眠関連疾患の診断・治療・研究を行っております。

患者会の活動として，定期的にパーキンソン病患者勉強会を開催しております。最新知見をアップデートし，日々の診療を向上させ患者様に貢献するため，全国から講師の先生をお招きして，Neurology conference in Tochigi を定期的で開催しております。

## 講座研究紹介

当講座では神経変性疾患，頭痛，脳卒中，睡眠関連疾患，神経免疫疾患，神経筋疾患部門に別れてそれぞれ多施設共同研究や単施設での臨床研究を行っています。特に睡眠医療センターは，北関東地区最大の睡眠医療の拠点としての役割を担っています。睡眠関連疾患（主に睡眠時無呼吸症候群，レム睡眠行動異常症）の成因・病態・治療に関する研究，神経変性疾患ではとくにパーキンソン病の臨床研究，脳血管障害や片頭痛など各種神経疾患の睡眠に関する研究を行っています。